



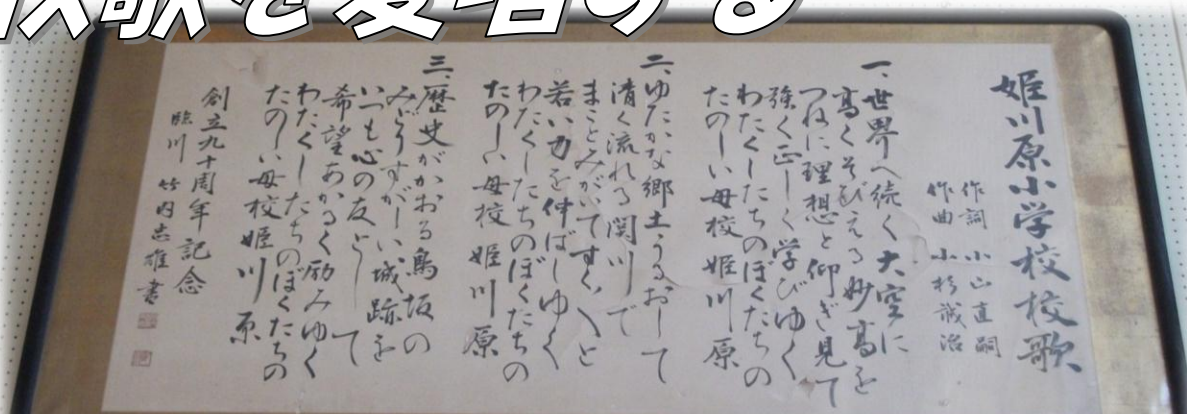
HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>

4月

学校だより/姫川原小



校歌を愛唱する



ついに姫小百四十一年の歴史を閉じる年を迎えた。新入生は、昭和三十七年制定の校歌を引き継ぐアンカーの子どもたちとなる。何もかもが最後と思うと愛おしく、新入生と手をつないで記念写真まで撮ってもらった。

入学式では、閉校を意識し、「校歌の歌声が響く学校にしましよう」と子どもたちに向け話をした。一年しか過ぎさない子どもたちに、時を経ても自然と口から歌が思い返せるようにと、願ったからだ。

三月の卒業式以来、在校生も校歌を歌う姿勢が変わってきている。明るい声で、しっかりとした校歌を歌えるようになってきた。今年は、体にしみこむほど、とことん歌い込ませようと、先生方も力が入っている。一番から三番まで同様の最後のフレーズ

「わたくしたちの ぼくたちの

たのしい母校 姫川原」

ここは一段と声も大きく、一体感が増すところだ。この一体感こそ、所属意識を高める校歌の役割の一つとなる。

十一月二十二日には、閉校記念式典や惜別の集いを計画している。その時は、大勢の皆様方の世代を超えた声高らかな校歌が思い描ける。きつと愛郷心や愛校心が思いっきり詰まった姫小校歌になることだろう。

さて、真の「たのしい母校 姫川原」の実現を目指し、最後の一年がスタートした。

今年も校長荒川が「親しみやすく・読みやすく・分かりやすい学校便り」をモットーに頑張ります。各地区の文書係の皆様にはご面倒をおかけしますが、よろしく願い申し上げます。

みんな揃ってハイポーズ

二回の入学式

姫小最後の新入生を迎えて

七日、入学式にふさわしく朝陽に映えた妙高が美しく温かな日となりました。しかし、インフルエンザの影響で全員そろわずの入学式となってしまったのです。一日おいた九日に、学校だけの二回目の入学式を行いました。



「担任の先生は、小島美香先生です。」と紹介した一回目の入学式。新入生呼名では、緊張しながらも全員の大きな返事に、一同目を見開く瞬間があったほど、素晴らしいものでした。六年生さんの作文には、次のように書かれていました。「式では、一年生が大きな声を出していて、僕も負けられないなと思いました。六人と少ないけれど、一人一人が立派な大きな返事でした。」

二回目の入学式

今日は、可愛い入学式衣装を手提げ鞆に入れたの登校です。一限目、教室でお着替えして、体育館へ。授業も始まっていたため、二年生だけ参加してくれたらと声をかけたところ、次々と一年生を祝おうと、駆けつけてくれました。結局式次第を全て行うことが出来ました。

「担任の先生の名前を紹介します。小島……」と言いかけると、一年生が「美香先生」です。自然に应えるのです。表情も柔らかで緊張が解きほぐれたようです。

何よりも二日しか経っていないのに、一年生が校歌をしっかりと歌っているのです。この二日間、二・三年生が一年教室に行き、校歌と一緒に歌ってくれていた話を聞きました。昨年してもらったことを、次の一年生につなぐよき伝統となっていたことに感動を覚えます。

二回の入学式は、想像以上の子どもたちの姿を発見させ、私たちにいろいろなことを教えてくれました。

最後となった本年、保護者の皆様はじめ、地域の皆様のこれまで以上のご支援をお願い申しあげます。

サプライズ始業式

朝、教室に行くと、「進級おめでとう」と書かれた黒板の字が、どこも同じ。子どもたちの期待の担任予想はなかなか検討つかない。ピアノの生演奏に乗って職員が交差しながら歩き出す。いろんな先生が目の前で止まっては違う学年へ動き出し、曲の終わりで子どもたちの前に止まる。最後の最後に突然隣同士で入れ替わる。新任式のない年だからこそできた、子どもへの大受けサプライズ担任発表でした。



「はい」と、新入生全員が大きな声で立派な返事ができました。椅子から立ち上がる様も、パネのように勢いがあり、微笑ましかったです。



児童を代表し、歓迎の言葉の6年生は、映像を用いながら、学校の様子を詳しく伝えました。二回目の入学式では、突然のお願いにもかかわらず、アドリブで歓迎の言葉を言ってくれました。



2・3年生の歓迎のダンスは、運動会で踊った「トラブルメーカー」





チームひめがわら14

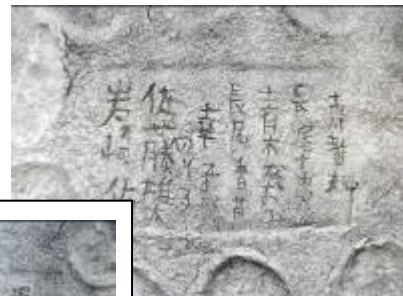
教育支援員は残念ながら異動となりましたが、他は念願叶い昨年と同じメンバーで、最後の姫川原の教育を行うこととなりました。笑顔あふれる姫川原小、明るく元気に、さやかに

をモットーに頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

閉校特集 ～思い出の品に想いを寄せて～ その4



校舎とグラウンドの間に、大きな存在感を示しながら立っているのがシンボルタワーです。卒業生のタイムカプセルが入っているようです。よく見ると一人一人の名前や、1982 納めた期日と、2002 開封、2017 開封とも刻まれています。3年後に開封の 때가近づいてきました。開封時に学校がなくなるとはその当時は想像すらしなかったことでしょう。





第 38 回卒業生
制作です。今は
西階段の踊り
場に飾られて
います。40 歳
位になられた
方たちでしょ
うか。当時の勢
いが 30 年近く
たっても伝わ
ってきます。